

謹賀新年 日生研営業部から皆様へご挨拶



営業部 副部長・北海道担当 加園 岳大

本年も変わらず宜しくお願い申し上げます。
私事です、今年は年男で御座います。卯年の意味 卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあるそうで、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われていますので、今年の3月に東京マラソンに挑戦致します。
ネガティブなニュースばかりですが、皆様と共に超ポジティブな一年にしたいと願っております。
(携帯：090-7837-0192)



学術・安全管理室 室長 大森 崇司

未だ豚熱感染の終息が見込めず、更には飼料高や物価高などに伴い、関係者の皆様におかれましては大変な思いをされていることと存じます。一方、皆様方の日々の工夫や努力などの御尽力のお陰で、我々消費者は安心・安全な食品を口にすることが出来ており、頭が下がる思いです。弊社は動物用ワクチンを通じ、動物たちの健康を技術と品質で支えていくことを使命としております。お客様より頂戴した御意見や御質問をヒントに、動物たちの健康に加え、生産性向上に貢献できるよう努めて参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



東エリア長・南東北地区担当 関 淳一

昨年、プロ野球ヤクルトの村上宗隆選手が日本選手で最多となる56号本塁打を記録し、王貞治氏が持つ日本人選手のシーズン最多本塁打を塗り替えるという偉業を成し遂げたことは、記憶に残っている方も多いと思われます。日々の努力がこのような結果を生んだのだと確信しておりますが、私も彼を見習い、目標達成に向けてコツコツと努力し、実りのある1年にしたいと考えております。生産コストの上昇や感染症対策など厳しい状況が続きますが、少しでも皆様のお役にたてるよう頑張ります。何卒よろしくお願い申し上げます。
(携帯：080-2170-8048)



西エリア長・東海北陸地区担当 門馬 望

昨年のサラリーマン川柳の一句『指よりも 喉にあびたい アルコール』に、愛飲家の心の声が聞こえてクスッとしてしまいました。私自身も宴席は好きな方ですが、最近は尿酸値を気にしてビールを控え焼酎を少量嗜んでおります。
なぜお酒は人を活気づかせるのでしょうか。古い時代の日本人は武士も農民も宴を楽しんでいたようです。お酒は戦や飢餓を乗り越えて生きている実感を喜び味わい、人と人を笑顔で繋ぐ特別な食品なのかもしれません。
現代もなにかと疲れる出来事が多いなか、ホッと一息つきたい日もあります。
(携帯：090-7834-8968)



**青森・秋田・岩手担当
二見 裕樹**

約10年ぶりに復職し昨年10月より北東北エリアを担当することになりました。

昨年はCSFや新型コロナ禍により引継ぎも一部の皆様しか訪問できませんでした。本年は防疫体制と自身の健康管理に十分に気を付け、10年前とは違った視点で生産者皆様の力になることをお約束します。本年も宜しくお願いします。

(携帯：090-2154-1950)

分に気を付け、10年前とは違った視点で生産者皆様の力になることをお約束します。本年も宜しくお願いします。



**茨城・千葉・神奈川担当
岡崎 惇朗**

本年の干支の卯にあやかりまして、本年の目標は鳶目兎耳とよばれるよう、情報などをいち早く収集し、皆様にお伝え出来るよう努力いたします。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。プライベートでは中々出来ないキャンプディレクターの資格取得を目指したいです。

(携帯：090-1057-4352)

では中々出来ないキャンプディレクターの資格取得を目指したいです。

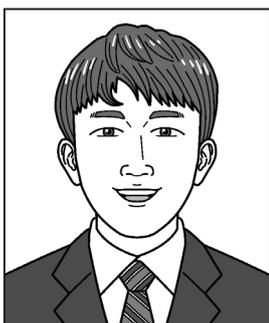


**栃木・群馬・埼玉・東京
山梨・長野地区担当
洲澤 佑輝**

CSFや飼料の高騰が続き大変苦しい状況の中、事故率、飼料要求率等を如何により良くしていくか、未熟ながらもお力添え出来れば幸いです。豚の疾病は勿論のこと、新型コロナも

未だ予断を許さない状況ですが、2023年も健康に笑顔で皆様と面談できるよう体調管理には気を付けていきたいと思ひます。

(携帯:090-7831-8463)



**福岡・佐賀・長崎・熊本担当
大森 拓実**

2022年4月より新卒で入社いたしました、大森拓実と申します。担当地域は九州の北部になります。私が入社したタイミングで飼料の高騰など様々な要因が重なり大変な時期になっていると思ひます。まだまだ勉強不足ですが、少しでも皆様のお役に立てるよう励んでいきます。

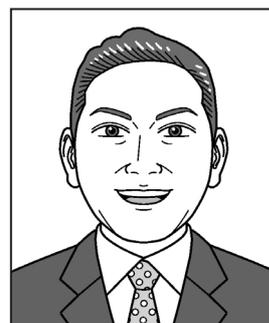
何卒宜しくお願い致します。(携帯:070-2839-9411)



**近畿中四国地区担当
石川 秀倫**

現在のエリアを担当して5年間、お伺した地域それぞれの歴史、特に地域の特徴のある養豚産業の現在までの発展について、非常に興味深く勉強させていただいております。未来にむけて大きな変化と発展が期待されるなか、心と体を鍛え、可能な限りお役に立てるよう2023年を邁進して参ります。

(携帯:090-7266-2992)



**宮崎・大分担当
永木 宏明**

あけましておめでとうございます。今年は趣味のゴルフに限らず、仕事の方も気持ちを新たに真剣に取り組む所存でございます。変わらぬご指導を賜りますよう、宜しくお願い致します。

(携帯:090-7833-2679)

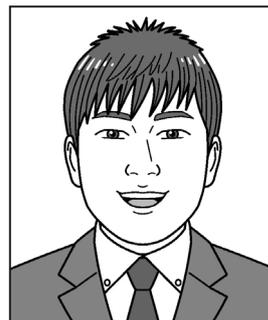


**鹿児島・沖縄担当
小島 浩**

昨年の年始のご挨拶で目標(スコア100切り)を掲げましたが、とうとう達成できませんでした。ゴルフの目標は叶いませんでしたが、嬉しい事に新しい家族が一人増えました。今年は、昨年の目標を継続しつつ、仕事と子育てを頑張っていきたいと思ひます。宜しくお願い致します。

(携帯:090-7834-2349)

育てを頑張っていきたいと思ひます。宜しくお願い致します。



**学術・安全管理室
貫井 涼平**

今年は卯年ということで、年明けに相応しい「二兎を追う者は一兎をも得ず」というウサギを使ったことわざがありますね。二ホンノウサギは80km/h、イノシシは45km/hもの速さで瞬間的に走ることが可能だそうです。今年はウサギを追うよりも、まずはブタを追える体力をつけたいと思ひます。

す。今年はウサギを追うよりも、まずはブタを追える体力をつけたいと思ひます。